

2026（令和8）年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程入学試験＜一般＞（冬期）出題の意図

試験 科目	専門科目 B (行動学系)	講座		研究 分野	
----------	------------------	----	--	----------	--

(2 枚中の 1 枚目)

1. (応用認知心理学)

視覚的な注意の特徴はしばしばスポットライトやズームレンズに例えて説明されてきた。スポットライトが空間の一部のみを明るく照らし、照射範囲内にあるものは良く見えるというように、注意もその配分される先の情報のみが選択され、詳細な分析が行われるとされる。本問ではこのスポットライト・メタファによる視覚的注意の特徴の説明を知っていること、注意研究でしばしば用いられる課題（空間手がかり課題、ドットプローブ課題、有効視野課題など）の内容とその典型的な結果を知っていること、その結果が得られるプロセスをこれらのメタファを用いて説明できることを問う。

2. (応用認知心理学)

応用認知心理学の研究の中でしばしば用いられる基本的な専門用語・概念について理解しているかを問う。

3. (社会心理学)

大学院博士前期課程において社会心理学研究を行うために必要な、(1)基礎的な専門知識、(2)研究計画能力、(3)英文読解力を確認することを意図した出題である。

4. (社会心理学)

大学院博士前期課程において社会心理学研究を行うために必要な基礎的な専門知識を確認することを意図した出題である。

5. (臨床死生学・老年行動学)

臨床死生学・老年行動学で必要とされる基本的な知識を有するか、先行研究を理解し、論理的に説明する基本的な能力を備えているか、実証知見に基づく政策や実践への有効な示唆を考案する能力を備えているかを問う問題を出題した。

6. (臨床死生学・老年行動学)

高齢者心理学を研究するために必要な基本的な情報に関する知識を問うた。

7. (安全行動学)

自転車の運転に関するリスク要因や特徴を理解し、それに対する適切な対策や施策を提示できるかを問う問題である。

8. (安全行動学)

安全行動学の研究の中でしばしば用いられる基本的な専門用語・概念について理解しているかを問う。

2026（令和8）年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程入学試験＜一般＞（冬期）出題の意図

試験 科目	専門科目 B (行動学系)	講座		研究 分野	
----------	------------------	----	--	----------	--

(2 枚中の 2 枚目)

9. (発達認知科学)

乳児研究で使用されている基本的な方法論に対する知識を有し、その違いを認識しているかを問うことにより、実践的に方法論として活用できるかどうかを確かめる。

10. (発達認知科学)

(a), (b), (c), (d), (e) のいずれも、発達心理学／発達認知科学に関する基礎知識を有しており、具体例を挙げながら適切に説明できるかどうかを問う。

11. (認知行動工学)

本設問は、予防的健康行動、あるいは公共場面での行動変容、健康・医療心理学に関する理論の理解ならびにリサーチデザインを行うスキルを問う問題を意図して出題している。

12. (認知行動工学)

本設問は、認知変容・行動変容に関連する基本的な概念を理解しているかについて問うことを意図している。